

# 平成 23 年度 事業計画

## 1. 事業方針

景気の踊り場から脱却という見方が広まっている中で、世界同時不況からの回復が遅れ気味の日本経済にもようやく薄日が差してきたと言われます。しかし、日常生活の中には景気回復を感じる場所は見渡せない。中長期的な視線で今後を展望すると、円高、デフレそして少子高齢化が急速に進み、そのうえ、社会保障改革に伴う負担増などのこの先不透明であります、また、65歳継続雇用の進展、年金支給開始年齢の段階的引き上げ、補助金の大幅削減など、シルバー事業を取り巻く情勢は非常に厳しく大きな変化が生じてきている。

日本人の平均年齢 45 歳、少子高齢化の下、高齢者への期待が益々大きい当地域は、これまで築いてきた地域社会の豊かさや活力を維持し、更に社会保障の充実を図り魅力ある郷土を構築しなければならない。このためシルバーの果たす役割は大変重要であります。

また、会員自らの生きがいや健康づくりにも務めなければならない。

本年は、シルバー人材センターが広域拡大となってから 3 年目を迎え、4 月 1 日からは公益社団法人として認定を受けて最初の事業年度であります。

公益に恥じない責任ある事業を遂行し地域のニーズに応えることにより、シルバー事業の理解と協力が得られるものであります。今後は仕事の確保はもとより地域社会の活力を作り出すことにもシルバーに課された課題と考えます。

こうした厳しい状況の中、シルバーの基本理念「自主・自立・共働・共助」で安心、安全で豊かな活力ある地域づくりに貢献するため、次の事業に取り組みます。

## 2. 事業内容

### (1) 安全・適正就業推進事業

「気のゆるみ 慣れと油断が 事故のもと」を基本として、安全適正就業の徹底を図る

22年度は設立以来異常に多くの事故が発生した。長期入院の事故を踏まえ、組織を挙げて、重篤事故はもとより、全ての事故の撲滅を図る

- ① 機械器具安全取扱講習会の開催
- ② 安全・適正就業研修会の開催
- ③ 作業別安全・適正就業マニュアルの励行
- ④ 安全・適正就業への積極的な呼びかけ
- ⑤ 健康管理講習会の開催
- ⑥ 安全パトロールの実施

### (2) 普及啓発事業

シルバー人材センター事業について広く地域社会の中にPRする地域社会へ「シルバー事業の理解と協力について」の広報活動に力を入れる

- ① 地区役員の下、啓蒙活動を活発に実施する
- ② 普及啓発促進月間（10月）を中心に、諸事業を強力に推進する  
シルバーフェア、ボランティア等の実施
- ③ あらゆる機会を通じて広報宣伝等普及啓発活動を推進する
- ④ 町村広報誌、チラシ等による広報活動
- ⑤ 会員1人が1会員を増やす
- ⑥ 研修等を通し会員それぞれが資質の向上を図る
- ⑦ 中長期計画策定の検討
- ⑧ 広報（シルバーだより）の発行

(3) 就業開拓事業

公平な就業、就業率向上、受注可能な就業の開拓  
多様化する地域ニーズ、会員の就業ニーズに対応できる就業分野の開拓拡大

- ① 地域の隅々まで就業開拓に力を入れる
- ② 会員自らも就業開拓に努める
- ③ 各地区、役員は率先して就業開拓に努める
- ④ 地域班、職群班と情報を密にし就業開拓を推進する
- ⑤ 独自事業の企画、充実推進
- ⑥ 閑散期の就業開拓

(4) 組織の活性化と会員相互の連絡強化

「自主・自立・共働・共助」の精神の徹底を図り共に支えあえる組織の強化に努める

- ① 専門部会組織の活性化、連絡協調を図りシルバー組織の強化を図る
- ② 地区組織とそれぞれの部会との連絡協調を図り地域社会の活性化を支える
- ③ 各事業部会の活動を重視し活性化を図るとともに連絡協力体制を強化する
- ④ ボランティア活動等の実施  
(各地区特徴ある計画を地区代表の下、企画実行する)
- ⑤ 先進地視察の計画実施